



## 付属品

---

- [Bluetooth アクセサリ](#) (1 ページ)
- [ケーブルロック](#) (3 ページ)
- [外部カメラ](#) (4 ページ)
- [外部スピーカーおよびマイクロフォン](#) (4 ページ)
- [ヘッドセット](#) (5 ページ)
- [ビデオディスプレイ](#) (9 ページ)
- [Cisco DX650 壁取り付けキット](#) (9 ページ)

## Bluetooth アクセサリ

ユーザーは、ヘッドセット、キーボード、携帯電話などの Bluetooth アクセサリを DX シリーズ デバイスにペアリングできます。

ユーザーは一度に複数の Bluetooth デバイスをペアリングできますが、一度にペアリングできる Bluetooth オーディオ デバイスは 1 つだけです。

Bluetooth を有効にすると、ワイヤレス ネットワーク接続が低下する可能性があります。ワイヤレス ネットワークのパフォーマンスを向上させるには、使用していない Bluetooth を無効にするか、ワイヤレス ネットワーク接続に 5 GHz 帯域を使用する必要があります。

## Bluetooth デバイス プロファイル

[デバイス プロファイル設定 (Device Profile Settings)] 画面には、ペアリングされたデバイスで使用可能なプロファイルが表示されます。プロファイルが無効にすると、そのプロファイルはオフになり、ユーザーはそのプロファイルを有効にできません。

## ハンズフリー プロファイル

Cisco DX シリーズ デバイスはさまざまなハンズフリープロファイル機能をサポートしており、アクセサリ (Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットおよび Bluetooth 対応携帯電話など) を使用することで、デバイスを操作することなく特定のタスクを実行することができます。例えば、

ユーザーはデバイス上でリダイヤルをタップするのではなく、ヘッドセットのメーカーの指示に従って、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットから番号をリダイヤルすることができます。

Bluetooth アクセサリには、次のハンズフリー機能が適用されます。

- Bluetooth HFP の接続/切断ステータスを処理します。
- Audio Gateway (AG) で電話番号をダイヤルしてコールを発信します。
- コールがいつ接続または切断されたかを示します。
- コールが着信したときにアプリケーションに通知します (インバンド着信音)。
- インバンド着信を有効または無効にします。
- 電話機のステータス (発信者 ID、信号強度、バッテリー レベルなど、AG から) を報告します。
- 通話を応答または拒否します。
- 発信者 ID を含むコール待機通知を受信します。
- コールを保留にして、待機中のコールに切り替えます。
- AG およびコールアプリケーションで、保留中のコールとアクティブなコールを切り替えます。
- 音声を携帯電話に切り替え、音声をハンズフリーユニットに戻します。
- 携帯電話のコール リストを取得します。

ハンズフリー デバイスは、機能のアクティベート方法が異なる場合があります。デバイスのメーカーが、同じ機能を指すときに異なる用語を使用している可能性もあります。詳細については、メーカーのマニュアルを参照してください。

## 電話帳へのアクセス プロファイル

Bluetooth 電話帳アクセスプロファイル (PBAP) を使用すると、ユーザーはペアリングされた携帯電話から Cisco DX シリーズ デバイスに連絡先と通話履歴を共有できます。ユーザーは、携帯電話をペアリングするときに、連絡先と通話履歴を手動でダウンロードするか、自動的にダウンロードするかを選択できます。また、連絡先をデバイスに保存することもできます。

## デバイス プロファイルの有効化

### 手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の管理で、[デバイスの > 電話 (Device Phone)] を選択し、変更するデバイスを見つけて、そのデバイスの [電話の構成 (Phone Configuration)] ウィンドウに移動します。

- ステップ2 [電話の構成 (Phone Configuration)] ウィンドウで、[Bluetooth (Bluetooth)] 設定で [有効 (Enable)] を選択します。
- ステップ3 デバイス プロファイルを有効にします。
- ステップ4 変更を保存します。

## Bluetooth アクセサリのペアリング

### 手順

- ステップ1 デバイスの設定アプリケーションで、[Bluetooth] をオンに切り替えます。
- ステップ2 使用可能なデバイスのリストからペアリングするデバイスをタップします。
- ステップ3 パスキーを確認してから、[ペア設定する (Pair)] をタップします。

## Bluetoothを無効にする

### 手順

- ステップ1 [Cisco Unified Communications Manager Administration] で、[Device] > [Phone] を選択します。
- ステップ2 [電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウで、変更するデバイスの検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ3 [電話の構成 (Phone Configuration)] ウィンドウの [製品固有の構成のレイアウト (Product Specific Configuration Layout)] 領域で、[Bluetooth] ドロップダウン リスト ボックスから [無効 (Disabled)] を選択します。

## ケーブル ロック

ラップトップ ケーブル ロックを使用して、デバイスをデスクトップに固定できます。ロックをデバイスの背面にある盗難防止用セキュリティコネクタに接続し、ケーブルをデスクトップに固定できます。

セキュリティ スロットには最大 20 mm の幅のケーブルを挿入できます。互換性のあるラップトップ ケーブル ロックとして Kensington 製のラップトップ ケーブル ロックの他、デバイスの背面にあるセキュリティ スロットに適合するその他のメーカー製ラップトップ ケーブル ロックがあります。

## 外部カメラ

Cisco DX650 は、アドオン Logitech C920-C Webcam または Logitech C930e を外部カメラとしてサポートします。

外部カメラをデバイスに接続すると、ユーザはポイントツーポイントのビデオコールを発信できます。外部カメラを機能させるには、ビデオ通話と USB デバイスを有効にする必要があります。



(注) Cisco DX650 が Power over Ethernet によって電源供給されている場合、外部カメラには 802.3at が必要です。電話機が Power over Ethernet によって電源供給されていない場合、外部カメラには外部電源が必要です。

## 外部カメラ設定

外部カメラをデバイスに接続すると、ユーザーは外部カメラの設定を制御できます。内部カメラとは異なり、外部カメラの明るさ設定は調整できません。

## 外部カメラ設置後のチェックの実施

### 手順

- ステップ1 [外部カメラが接続されました (External Camera Connected) ] というメッセージが表示されるまで待ちます。
- ステップ2 通話アプリケーションで、 をタップします。
- ステップ3 [セルフビュー (Self view) ] をタップします。
- ステップ4 デバイスと外部カメラを、視野内に明るい光が入らない位置に移動します。
- ステップ5 ユーザーが正面から照らされるように、デバイスと外部カメラを移動します。

## 外部スピーカーおよびマイクロフォン

外部スピーカーおよびマイクロフォンは、プラグアンドプレイ式のアクセサリです。ライン入出力ジャックを使用して、外部 PC タイプマイクや電源スピーカー（アンプ付き）をデバイスに接続することができます。外部マイクロフォンを接続すると内部マイクロフォンが無効になり、外部スピーカーを接続すると内部スピーカーが無効になります。



- (注) 低品質の外部オーディオデバイスを使用してラウドスピーカーを極端な大音量で再生したり、マイクロフォンをラウドスピーカーのごく近くに設置したりすると、スピーカーフォンの通話相手に不快なエコーが聞こえる場合があります。

## ヘッドセット

Cisco ではサードパーティ ヘッドセットの内部テストを実行しますが、Cisco はヘッドセットまたはヘッドセット ベンダーの製品を認定またはサポートしていません。

デバイスは、ヘッドセットのマイクが検出するバックグラウンドノイズを一部低減しますが、バックグラウンドノイズをさらに低減して全体的な音声品質を向上させる場合は、ノイズキャンセリングヘッドセットを使用します。

Cisco では、不要な無線周波数 (RF) 信号および可聴周波数 (AF) 信号を遮蔽するヘッドセットなど、高品質な外部デバイスの使用を推奨します。ヘッドセットの品質や、携帯電話や双方向ラジオなどの他のデバイスとの距離によっては、雑音やエコーが入ることもあります。可聴ハム雑音などのノイズは、相手方だけに聞こえる場合もあれば、ユーザーおよび相手方の両方に聞こえる場合もあります。ハム音またはバズ音は、さまざまな外的な要因、たとえば、電灯、電気モーター、大型の PC モニタなどによって引き起こされる場合があります。



- (注) 場合によっては、ローカル電源キューブやパワーインジェクタを使用することにより、ハム雑音を軽減または除去できることがあります。

デバイスが展開される場所によってこれらの環境およびハードウェアが異なるため、すべての環境において最適な唯一のヘッドセットは存在しません。

Cisco では、ヘッドセットを購入し、大規模に展開する前に、想定される環境でヘッドセットをテストし、パフォーマンスを確認することを推奨しています。



- (注) 同時に動作するのは1つのヘッドセットタイプのみです。デバイスに接続されている Bluetooth ヘッドセットおよびアナログヘッドセットの両方を使用する場合、Bluetooth ヘッドセットを有効にすると、アナログヘッドセットは無効になります。アナログヘッドセットを有効にする場合は、Bluetooth ヘッドセットを無効にします。USB ヘッドセットを Bluetooth ヘッドセットが有効になっているデバイスにプラグ接続するとき、Bluetooth およびアナログヘッドセットの両方を無効にします。USB ヘッドセットの接続を外した場合は、Bluetooth ヘッドセットの有効化またはアナログヘッドセットを使用するための Bluetooth ヘッドセットの無効化のいずれかができるようになります。

## Bluetooth ワイヤレス ヘッドセット

デバイスは、共有キーによる認証と暗号化方式を利用して Bluetooth ヘッドセットと接続します。デバイスは、一度に最大 5 つのヘッドセットに接続できます。最後に接続されたヘッドセットがデフォルトとして使用されます。通常、ペアリングはヘッドセットごとに 1 回実行されます。

デバイスがペアリングされた後、デバイスとヘッドセットの両方が有効化済みで、相互の有効範囲内にある限り、その Bluetooth 接続が維持されます。この接続は通常、一方のデバイスの電源が切断された後、再び電源が投入されると、自動的に接続を再確立します。ただし、一部のヘッドセットでは、ユーザによる接続の再確立が必要です。

Bluetooth ヘッドセットのワイドバンドはサポートされていません。Bluetooth ヘッドセットを使用すると、音声品質が低下する場合があります。

最適なパフォーマンスは、1～2メートル（3～6フィート）の範囲で得られます。ヘッドセットは5個以上接続できますが、最後に接続されたヘッドセットだけがデフォルトとして使用されます。ヘッドセットがデバイスから 30 フィート（10 m）を超えて離れていると、Bluetooth の接続は 15～20 秒間のタイムアウト後にドロップされます。ペアリングされたヘッドセットがデバイスの範囲内に戻ってきたときに当該デバイスが別の Bluetooth ヘッドセットに接続していないと、範囲内にある Bluetooth ヘッドセットが自動的に再接続します。電力節約モードで動作する特定のデバイスの場合、ユーザーは操作ボタンをタップして再接続を開始し、ヘッドセットを「ウェイク アップ」させることができます。

干渉が発生する可能性が考えられます。Cisco では、他の 802.11b/g デバイス、Bluetooth デバイス、電子レンジ、大型の金属製の物体を近くに置かないように推奨しています。可能であれば、他の 802.11 デバイスで 802.11a チャンネルを使用するように設定してください。

Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットが動作するために、ヘッドセットがデバイスの直接の見通し線内にある必要はありませんが、壁やドアなどの障害物、および他の電子デバイスからの干渉が接続に影響を及ぼすことがあります。

Bluetooth ヘッドセットの詳細については、ヘッドセットに付属のユーザー ガイドを参照してください。

## Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの追加

### 手順

**ステップ 1** ヘッドセットを検出/ペアリング モードにします。

(注) ヘッドセットを検出/ペアリング モードにする手順は、ヘッドセットに固有です。ペアリング手順については、ヘッドセットの製造元の指示を参照してください。

正常にペアリングしてデバイスに接続するには、ヘッドセットが検出/ペアリングモードになっている必要があります。

**ステップ 2** まだ行っていない場合は、デバイスの Bluetooth をオンにします。

Bluetooth がオンになっているかどうかを確認するには、ステータスバーの Bluetooth アイコンを探します。

**ステップ 3** [デバイスのスキャン (Scan for devices)] を選択します。

Bluetooth デバイスが見つかったら、その名前がウィンドウに表示されます。

デバイスは自動的に PIN 0000 を使用してヘッドセットとペアリングします。ヘッドセットが別の PIN を使用している場合は、ヘッドセットに付属のユーザー ガイドに記載されている正しい PIN を入力します。

(注) ペアリングに失敗した場合、デバイスは正しい PIN を入力するように求めます。

デバイスに正しい PIN が設定されると、デバイスはアクセサリへの接続を試行します。デバイスが接続できない場合は、エラー アラートが表示され、ユーザーに失敗の理由が通知されます。デバイスがアクセサリを接続しようとする時、10 秒のタイムアウトが発生します。接続に成功せずにタイマーが期限切れになると、エラー アラートが表示されます。

アクセサリがペアリングされた後、両方のデバイス (Cisco DX シリーズデバイスとヘッドセット) が有効化済みで、相互の有効範囲内にある限り、その Bluetooth 接続が維持されます。この接続は通常、一方のデバイスの電源が切断された後、再び電源が投入されると、自動的に接続を再確立します。ただし、一部のヘッドセットでは、ユーザによる接続の再確立が必要です。

ヘッドセットがデバイスの範囲外にある場合、Bluetooth は 15 ~ 20 秒のタイムアウト後に接続を切断します。ペアリングされたヘッドセットがデバイスの範囲内に戻ってきたときに当該デバイスが別の Bluetooth ヘッドセットに接続していないと、範囲内にある Bluetooth ヘッドセットが自動的に再接続します。ヘッドセットを起動して再接続プロセスを開始するには、ヘッドセットの操作ボタンをタップする必要があります。

ユーザーがアクティブ コールで Bluetooth ヘッドセットを使用していて、ヘッドセットがオフに設定されているか、範囲外にあるか、何らかの理由で切断されている場合、アラートがユーザーにスピーカー/ヘッドセットでコールを続行するか、またはコールします。ユーザーが 30 秒以内にアクションを実行しない場合、コールは終了します。

---

## Bluetooth ヘッドセットの削除

### 手順

---

**ステップ 1** 設定アプリケーションで、[Bluetooth] を選択します。

**ステップ 2** デバイス名の横にある [設定 (Settings)] アイコンをタップします。

**ステップ 3** [ペアを解除 (Unpair)] をタップします。

---

## USB ヘッドセット

有線およびワイヤレスの USB ヘッドセットがサポートされています。USB ヘッドセット（またはワイヤレス ヘッドセットのベースステーション）は、任意の USB ポートに接続できます。

### USB ヘッドセットの有効化

USB ヘッドセットを使用するには、USB ポートを有効にする必要があります。デフォルトでは、USB ポートが無効になっています。USB ポートが無効になっている場合は、Cisco Unified Communications Manager 管理の [電話の構成 (Phone Configuration)] ウィンドウ ([デバイス の > 電話 (DevicePhone)] )、[エンタープライズの電話の構成 (Enterprise Phone Configuration)] ウィンドウ ([システム > エンタープライズの電話の構成 (SystemEnterprise Phone Configuration)] )、または [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] ウィンドウ ([デバイス (Device)] > [デバイス設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] ) で USB ポートを有効にできます。)

#### 手順

- ステップ 1 ウィンドウの [製品固有の構成 (Product Specific Configuration)] レイアウト部分で、該当する USB ポートを有効にします。
- ステップ 2 [USB クラスの有効化/無効化 (Enable/Disable USB Classes)] パラメータで [音声クラス (Audio Class)] を選択し、[共通設定のオーバーライド (Override Common Settings)] をオンにします。

### USB ヘッドセットの無効化

#### 手順

Cisco Unified Communications Manager Administration で有効にした USB ポートを無効にします（または Audio Class パラメータを無効にします）。

## 有線ヘッドセット

Cisco DX70 および Cisco DX650 は、3.5 mm シングルプラグヘッドセットをサポートします。ユーザーは、ヘッドセットを使用してコールを発信および応答できます。

## 有線ヘッドセットの接続

### 手順

---

ヘッドセットをヘッドセットポートに差し込みます。

---

## 有線ヘッドセットの無効化

ヘッドセットを無効にするには、Cisco Unified Communications Manager 管理を使用します。これを行うと、スピーカーフォンも無効になります。

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager 管理からヘッドセットを無効にするには、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択し、変更するデバイスを見つけます。
- ステップ 2** [電話構成 (Phone Configuration)] ウィンドウ ([製品固有の構成レイアウト (Product Specific Configuration layout)] 領域) で、[スピーカーフォンおよびヘッドセットの無効化 (Disable Speakerphone and Headset)] チェックボックスをオンにします。
- 

## ビデオ ディスプレイ

Cisco DX650 は、HDMI ポートを介して外部ディスプレイデバイスをサポートします。HDMI ケーブルの一方の端を HDMI ポートに、もう一方の端をモニターの HDMI ポートに挿入して、モニタをデバイスに接続します。

## Cisco DX650 壁取り付けキット

Cisco DX650 を壁面に取り付けるには、Cisco DX650 壁面取り付けキットに含まれる特殊なブラケットを使用します。壁面取り付けキットは、デバイスとは別に注文する必要があります。

## はじめる前に

ブラケットの取り付けには、次の工具が必要です。

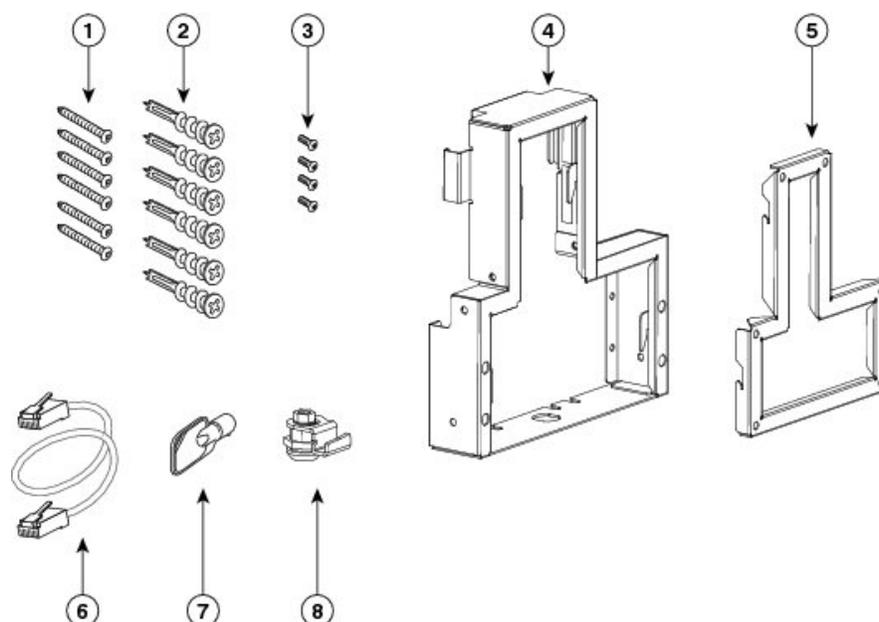
- No.1 および No.2 プラス ドライバ
- レベル

## 壁取り付けコンポーネント



(注) この壁面取り付けキットに含まれるハードウェアは、乾式壁に取り付けるためのものです。レンガやコンクリートなどの他の表面に取り付ける場合は、独自のハードウェアを用意する必要があります。

図 1: シングル電話アセンブリ用壁面取り付けキット



380115

1	8-18 x 1.25 インチのプラス ネジ x 6 本	5	壁面用ブラケット x 1 個
2	アンカー x 6 個	6	6 インチのイーサネット ケーブル X 1 本
3	3 x 6mm の小ネジ X 4 本	7	1つのロックダウンキー
4	電話機用ブラケット x 1 個	8	1つのロック

## 壁取り付けの設置

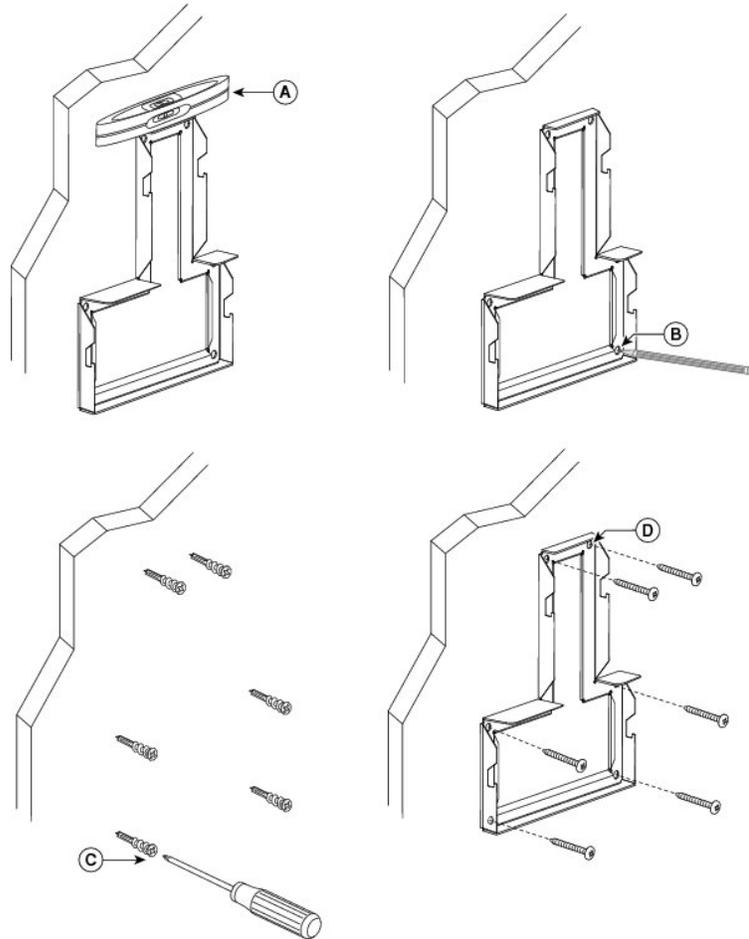
### 手順

**ステップ 1** 取り付け位置に、壁面用ブラケットを取り付けます。ブラケットをイーサネットジャックにかぶせて取り付けることも、近くのジャックまでイーサネットネットワーク ケーブルを配線することもできます。

- a) 水準器を使用してブラケットが水平であることを確認した後、鉛筆でネジ穴の位置に印を付けます。

- b) アンカーを鉛筆マークの上に慎重に置いて、#2 のプラス ドライバーでアンカーを壁に押し込みます。
- c) アンカーを時計回りの方向に回し、壁面と平らになるまで押し込みます。
- d) 付属のネジと #2 のプラス ドライバーを使用して、ブラケットを壁面に設置します。

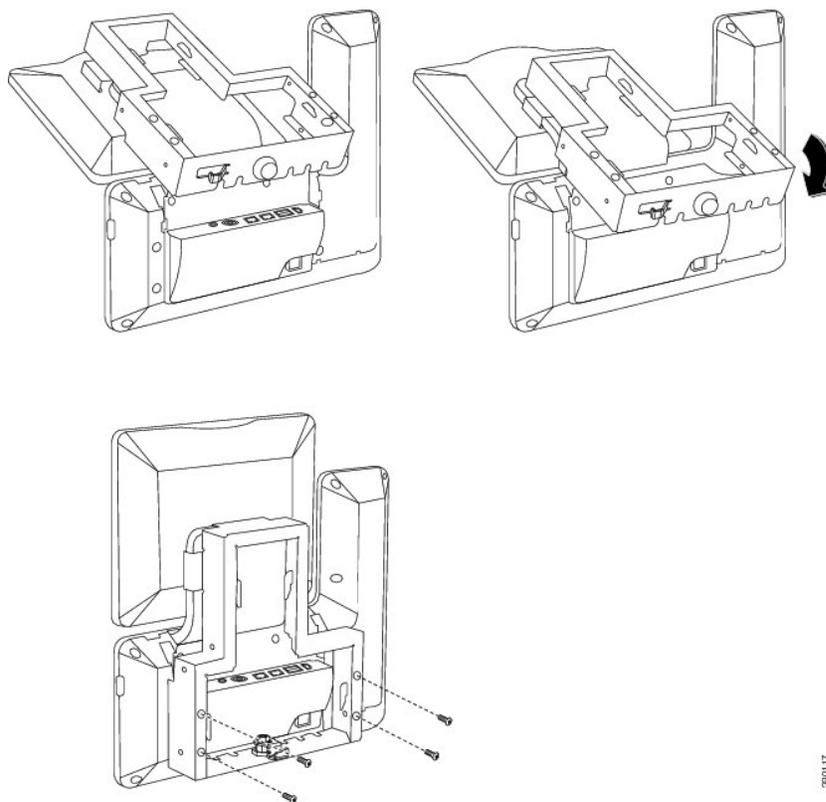
図 2: 壁面用ブラケットの設置



**ステップ 2** 電話機用ブラケットをデバイスに装着します。

- a) デバイスのベースから接続されているコードを取り外します。
- b) 電話機用ブラケットを電話機にスライドします。ブラケットの穴から、デバイスポートにアクセスできることを確認してください。
- c) 小ネジを使用して、電話用ブラケットをデバイスに固定します。
- d) コードを元通りに装着し、デバイス本体に付いているクリップで固定します。

図 3: 電話機用ブラケットの装着

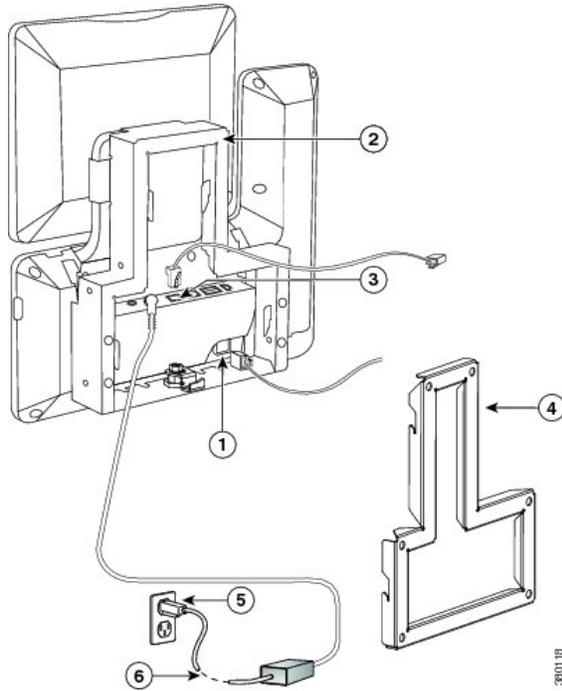


**ステップ3** イーサネットケーブルを 10/100/1000 SW ネットワーク ポートと壁面のジャックに接続します。

ネットワーク デバイス (コンピュータなど) をデバイスに接続している場合、ケーブルを 10/100/1000 コンピュータ (PC アクセス) ポートに接続します。

外部電源を使用する場合、デバイスに電源コードを差し込みます。

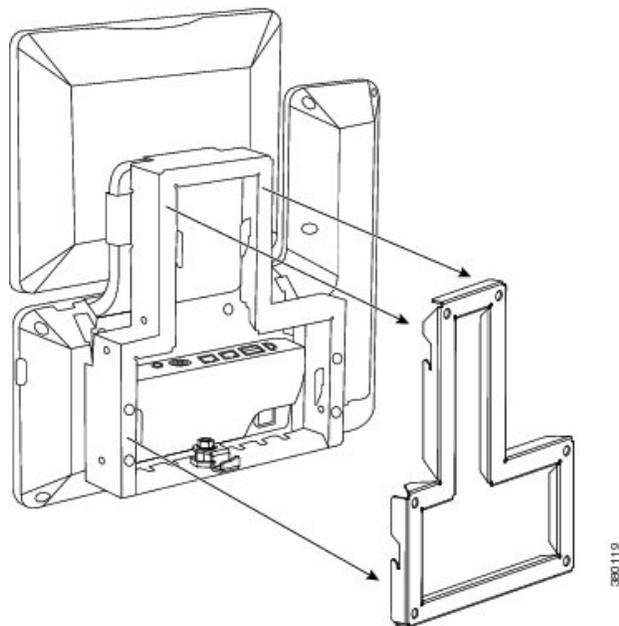
図 4: ケーブルの接続



1	受話器ポート	4	壁掛け用ブラケット
2	電話機用ブラケット	5	ACアダプタポート
3	ネットワークポート	6	電源ケーブル

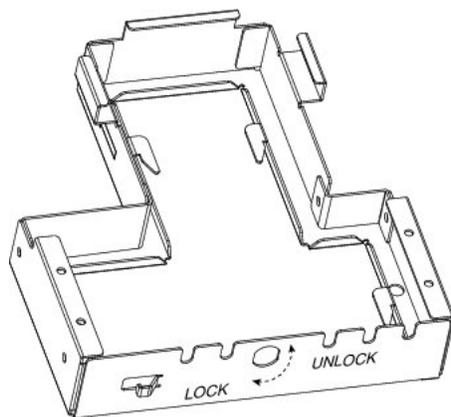
**ステップ 4** デバイスを壁面ブラケットに取り付けるには、電話機用ブラケット上部のタブを壁面ブラケットのスロットに差し込みます。ブラケット背後の壁面に差し込み口がある場合を除き、すべての電源コードやその他のケーブルが、ブラケット下部のケーブルアクセス用開口部を通っていることを確認します。電話機用ブラケットと壁面用ブラケットの開口部によって、複数の円形の開口部ができ、1つの開口部に1本のケーブルを通すことができますようになっています。

図 5: 壁面用ブラケットへのデバイスの設置



**ステップ 5** ロックダウン キーを使用して、デバイスを壁面用ブラケットにロックします。  
電話機ブラケットの下部にあるキーフックにロックダウン キーを保管できます。

図 6: キーフック付き電話機ブラケット



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。